

研究協力をお願い

札幌孝仁会記念病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

課題名 プレートを用いない頸椎前方除圧固定術の治療成績
1. 研究の対象および研究対象期間 2016 年 4 月から 2025 年 3 月の間に頸椎前方除圧固定術を施行された 116 例のうち、変性疾患に対して 1 椎間固定を行い 1 年以上経過観察が可能であった 20 例を対象
2. 研究目的・方法 頸椎前方除圧固定術(ACDF)は、頸椎変性疾患に対する標準的手技であるが、当院ではシリンダー型チタンゲージのみを用い、前方プレートを併用しない術式を標準としているが、ACDF の合併症として、チタンゲージの沈み込みやアライメントの変化、骨癒合不全、隣接椎間障害が報告されている。 これらに関する当院での治療成績を、subsidence、術前後のアライメントの変化、骨癒合不全、症候性隣接椎間障害について検討します。
3. お問い合わせ先 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 所属：社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院 脊椎脊髄外科 氏名：村上 友宏 住所：063-0052 札幌市西区宮の沢 2 条 1 丁目 16-1 電話番号：011-676-7419（内線 7070） また、本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反（conflict of interest）はありません。